

Kingfisher News

今年は、朝と夜が冷え込む日があったことから、桜が長持ちして満開の桜を存分に楽しむことが出たように思います。また、春らしい日もあって、久しぶりに春を満喫出来たのではないのでしょうか。

今回から、法人が広島県江田島市で行う藻場再生活動について、お知らせしたいと思います。

藻場が再生されると、単に海水中の二酸化炭素が消費されるだけでなく、小魚の住処になります。

トピック

藻場再生活動（１）

今回は、「瀬戸内海の藻場の現状と再生手法」です。

瀬戸内海におけるアマモ場の面積は、1960 年から 1971 年の間に、およそ 23,000ha から 5,600ha へと大きく減少しました。（アマモ場は藻場の一種）その最も大きな原因は、戦後経済成長期の干潟の埋め立てと言われています。その干潟も、1898 年に約 25,000ha あったものが、2006 年には約 12,000ha にまで減少しています。

さらに広島県水産試験場の資料によれば、広島県におけるアマモ場は、戦後の 30 年間に 4,500ha 消滅し、昭和 51 年の調査では 2,000ha となりました。特に、県西部や東部の都市圏での消失が著しいようです。

また広島湾海域では、昭和 51 年から平成 3 年の 16 年間で、残っていたアマモ場もさらに約 70%に縮小化して 169ha となっていました。

では再生するにはどのような様にすれば良いのでしょうか。これまでに、全国で行われてきた再生手法を調査してみると、1. 麻袋を用いた播種、2. ポットを用いた苗移植、3. ロープを用いた下種更新などがあります。今回の活動では、経費があまりかからず専門技能を持つ人を雇う必要がない 1. の方法で行います。この方法については、次回以降にご紹介したいと思います。



活動予定

第 28 回地球温暖化防止パネル展：

2025 年 4 月 22 日から 5 月 20 日フジグラン広島 3 階 Garden Kitchen 前

活動報告

第 27 回地球温暖化防止パネル展：

2025 年 4 月 4 日から 4 月 17 日フジグラン緑井 4 階 ギャラリー「passage」

詳しくはホームページをご覧ください。



特定非営利活動法人
Environment NGO

Kingfisher



TEL: (082) 548-8822 FAX: (082) 548-8833

e-mail: information@ngo-kingfisher.or.jp

<https://ngo-kingfisher.or.jp>